

編集後記

今年の梅雨は、全国的に平年より少し早く始まりましたが、関東地方では平年より晴天の日が多いように感じます。

気象予報士の森田さんの話では、今年の梅雨は、「前線北上型」で、太平洋高気圧が強まり前線を押し上げるパターンで、ムシムシして、うっとうしい日が続くのが特徴だそうです。また、「前線北上型」の梅雨の夏は、猛暑になる傾向があるそうです。過去10年で「前線北上型」の梅雨は3度あり、その夏の東日本における平均気温は、平年より+1.6℃(1994年)、+0.7℃(1999年)、+1.0℃(2001年)でした。

平均気温が平年より0.5℃以上低い夏を冷夏と呼びます。1993年は冷夏で、翌1994年の夏の平均気温が+1.6℃でした。昨年東日本では冷夏だったので、同じ傾向だとすると、今年の夏は猛暑になるのでしょうか。

さて、今月号は「安全対策」を特集テーマとして、国土交通省、日本建設機械化協会、施工技術総合研究所、建機メーカー、建設業者、レンタル業者、仮設業者など、各方面における建設施工の安全対策への取組みを紹介しています。

近年、建設業における労働災害発生件数は、年々減少傾向にあります。しかし、2003年の全産業に対する建設業の労働災害は、休業4日以上

の労働災害が23.3%、死亡者数が33.7%でした(厚生労働省)。これは、全産業に対する建設業の就労者数の比9.6%(総務省、2003年)と比べて非常に高い水準といえます。

また、建設業における死亡災害の種類は、墜落が全体の39.4%、クレーンおよび建設機械関連が15.2%、自動車によるものが13.0%となっています(建設業労働災害防止協会、2002年)。

このような状況のなか、建設工事における安全対策のなお一層の推進が望まれており、行政をはじめ関連団体および企業で抜本的な安全対策の取組みが行われています。

2001年6月に厚生労働省から、全ての機械に共通した安全基準の指針として「機械の包括的な安全基準に関する指針」が通達されました。

国土交通省では、「事故データベース」による事故分析、「建設機械施工安全マニュアル」の作成、主要建設機械4機種

の安全対策検討等が行われています。

また、日本建設機械化協会では、前述の指針に対応した建設機械の安全規格の作成が進められています。本号では、行政の建設施工の安全対策への取組み、土工機械およびクレーンの安全規格、油圧ショベルの安全対策、墜落事故の有効な対策である「手すり先行足場」、自動車によるもらい事故対策、および究極の安全対策といえる無人化施工の最新情報

を特集しています。最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらずご執筆頂いた著者の皆様に深く御礼申し上げます。

(有光・斉藤)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
両角 常美	渡邊 和夫

編集委員長

関 克己

編集委員

星隈 順一	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
佐藤 隆	農林水産省
伊藤 早直	原子力安全保安院
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源機構
吉村 豊	電源開発
西田 光行	鹿島
橋本 弘章	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
有光 秀雄	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キャタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
内田 克巳	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
梅本 慶三	ハザマ
宮木 克己	日立建機
庄中 憲	施工技術総合研究所

8月号予告 —情報化施工特集—

- ・座談会「情報化施工」
- ・情報化施工の動向と将来の可能性
- ・情報化施工を活用した次世代建設システム
- ・小丸川発電所ダムの情報化施工
- ・画像技術を利用した情報化施工
- ・土木工事施工管理の高度情報化施工
- ・TBMの情報化施工

No.653 「建設の施工企画」 2004年7月号

(定価) 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成16年7月20日印刷

平成16年7月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社 技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三條西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支	部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380